

しゅわっち
手話っ知

今回、高度ポリテクセンターの榎本さんからリレートークを引き継ぎましたが、4/1999号で栗林さんにリレートークが回ったことを聞いたとき、「やばい」と思っていました。案の定、江口さん（ちなみに栗林、江口とは能開大研究課程で同期でした）、榎本さん、とつながり……（*_*）。榎本さんは能開大の先輩でありました。系も研究室も違ったのですが、親しい友人がいたため、よく顔を出しているうちにゲーマーだということを知り、親しくなりました（ということは私もゲーマー？）。

3/1999号で芹ちゃん（芹沢君）が昨年度まで日本障害者雇用促進協会に出向してたときのことを書いていましたが、私も同じく昨年度まで3年間、同協会の岡山にある国立吉備高原職業リハビリテーションセンターで勤務しておりました。芹ちゃんも聴覚障害者とのコミュニケーション「手話」について触れましたが、私も同じく最初は戸惑いました。少し違ったことは、私は転職して手話を初めて覚えたのではなかったことです。吉備に転職する1年前（当時はポリテクカレッジ岡山に勤務しておりました）から、地元の手話サークルが行っていた「初級手話教室」に2週に一度、通っていました。始めたきっかけは…笑われるかもしれませんが…4月から新番組で、酒井法子さん主演の「星の金貨」が始まるのがコマーシャル等で宣伝されていた頃、市の広報に手話教室募集の記事があり、「のりピーの手話を读めるようにならなくては」と、通い始めました。その後、豊悦のドラマ「愛してると言ってくれ」の放送の影響もあり第2次手話ブームが起こり、NHK教育のテキスト「みんなの手話」も売り切れ

るほどでした。でも、まさかその時は手話が自分の仕事で必要になるとは思っていませんでした。

手話教室で初めて聴障者と接しました。その手話教室では手話だけではなく、聴障者の暮らしや立場などさまざまな問題を教えてくださり、聞こえないことによる2次的・3次的障害が多くあることを知りました。そんなこんなで1年がたち、吉備リ八に転職。まだまだ手話ができるという状態ではありませんでしたが、「全然知らないよりはましかな」という状態でした。それからは芹ちゃん同様、毎日が手話の勉強、OJTです。困ったことに訓練中には、機械用語などの専門用語が多くあり、手話辞典を調べてもない単語は、訓練生と「こう表現しよう」とか言いながら授業をしていました。地元のサークルにも入会して、いろいろとお姉さま方（手話サークルのメンバーは女性ばかりでした）と活動（というか、まともに手話はできないので…雑用?）をしていました。

今、聴障者の人数に対し、手話のできる人の数が不足しています。駅、スーパー、病院、会社の中、学校…等々、街のさまざまな場面で手話を必要としている人がいます。これをお読みの皆さんも手話を始めましょう!!

さて、次にバトンを渡す方は、ポリテクカレッジ岡山の立壁先生です。私が能開大を卒業して右も左もわからずに岡山に赴任し、いろいろお世話になった方で、今でもお世話になっております。昨年度まではフィリピンへ行かれ、国際協力にご尽力されておられました。

では、立壁先生 後はよろしく……。

ああ!! 懐かしき思い出

ここ数ヵ月のリレートークを読んでいて、塗装科の先輩方が登場されていたのを見て非常にうれしく思っていました。そんな矢先、山形県立庄内職業能力開発センターの中村さんから電話があり、まさか自分に回って来ようとは思ってもみませんでした。実は、電話があったときに妙にテレパシーを感じ、ヤバイと脳裏をよぎったのですが、それは後の祭り、優しい先輩であり、また卒業のときは同期となった同輩なので了承しました。彼は多分(?)1年でも多く訓大で研究されたかたのしょう.....スミマセン!!

彼とは、勤務先が同じ県立の職業能力開発校という関係で交流しています。山形県立産業技術短期大学校を視察研修した際には、県内の観光名所の案内と米沢牛をたくさん食べたことを思い出します。その節はありがとう。

さて、私も訓大を卒業して20年が過ぎました。当時のことを思い出せば懐かしい限りです。入学時の塗装科歓迎コンパにて緊張のあまり、片手をポケットに入れたまま自己紹介をして、4年生の大先輩から大目玉を食らったこと...、恐かったなあ! それに、仲間たちとの勉学、遊び、特に試験のとき、助けてくれたY・K君。私はこれで単位を取得しました?

また、名物教授がおられまして、化学、ドイツ語等等...、大変やった。そうそう、講義のときに15期生全員が、ある講師の授業をボイコットして近くの喫茶店に行ってしまう、教授から単位はやらないと脅迫されたこと。それに漆芸実習では、うるし液によるかぶれで、他人迷惑省みず、各研修部屋のドアノブにうるし液を塗ったいたずら等(これは

時効ですよ...どうもスミマセン)。

その他、よく遊んだものでした。当時、近隣の女子大学とかの合コンでは、よく交渉役として回りました。学園祭の交流も盛んだったし、これがもって結婚した仲間もいましたよ。また、私自身、今は無き相模原のアパート(黎明荘、4畳半フロ・トイレ無し、家賃7000円)の生活でしたが、これも訓大寮にはまた無い楽しい学生生活の思い出の場でした。

大坪君、奥村君、堀川...、元気か!!

訓大での4年間は、良き思い出と将来につながった学生生活だったのかもしれない。

お世話いただいた各先生、先輩、仲間にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

ところで、話は変わりますが、私が最初に赴任した天草校では、塗装の指導を11年間行いました。とにかく悩みもなく充実した訓練ができたと思います。そのお陰でいつしか17kgも体重が増え、地元の中学・高校時代の友人に肥満病と言われたりしましたが、環境が良かったのでしょうか。

職業訓練大学校「塗装科」は、ユニークな科であり、他の大学、教育機関にもない貴重な存在科であるがゆえに、全国的に無くなっている現状には、残念で仕方ありませんが、『技能と技術』にあつては、本当に技能勘が必要な職種であり、塗装指導員として携わっていることを自負しています。現在は、熊本校の車体整備科に籍を置き、自動車板金塗装という形で訓練に励んでいます。

仕事の話はこれくらいにして、現在、私の住んでいる天草に触れたいと思います。よく天草というと長崎県に間違えられるのです。キリシタン殉教の哀史、天草四郎時貞の島原の乱や、1991年に大爆発

した普賢岳と隣接しているからかもしれません。風光明媚で海の幸に恵まれ、人情厚い地であります。

観光名所では、阿蘇山、熊本城等々。私は、まず天草で磯釣りを覚えました。とにかくよく釣れるんですよ。大物のクロダイ、メジナが。その次にツーリング、いわゆる中年ライダーです。九州、四国はくまなく走りました。さらに、同僚のすすめでゴルフを始めました。スコアは、ワンハンドレッドクラブの名のとおり100を切るくらいで、ちなみに最高スコア86です。……まぐれ。とにかく熊本はゴルフ場が約50カ所あり、料金も安く、セルフプレーでは5000～6000円で出来ます。特に、月・火曜に

多いのでゴルフツアーに来られたらどうでしょうか。情報を提供します。

それでは、道楽者の私から同じアパートで学生生活をしていた友人で、宮城障害者職業能力開発校の大坪君へバトンタッチします。

彼は大学するとき、自動車事故で重傷者として救急車にて担ぎ込まれたのですが、一人で歩いて診察室までずたずた行って周囲を驚かせた強者で、バイク事故にても発熱する打撲にもかかわらず、徹夜マージャンをした奇人、変人、スーパーマンです。よろしく!!

